

Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		食品開発科学科			
科目名称	英語 I					授業形態	演習			
科目コード	141700	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブラーニング		
担当教員名	横堀 仁志								ICT活用	
授業概要	この授業ではTOEIC Bridge Listening & Reading Test (TOEIC Bridgeテスト) の特徴、出題形式を理解し、スコアUPのための英語力を身につけることを目的とする。TOEIC Bridgeテスト50～55点を目指す上で基礎となる英語力を身につけることを目的とする。									
関連する科目	本授業履修後に「英語II」（必修科目）を履修すること。									
授業の進め方と方法	①リスニングについては授業中に本番のテストのつもりでリスニング問題を解答し、演習を行う。解答後、指導者が解答・解説を行う。 ②リーディングについては予習課題として事前に解答しておき、授業において指導者が解答・解説を行う。 ③前回の授業のテキストの範囲から単語の小テストを実施する。									
授業計画【第1回】	第1回：オリエンテーション 授業の進め方及びTOEIC Bridgeの特徴や出題形式に関して説明する。									
授業計画【第2回】	第2回：Unit 1: Activities リスニング：人物の動作・背景に着眼して答えるタイプの問題 リーディング：現在時制・過去時制について学ぶ									
授業計画【第3回】	第3回：Unit 2: Eating Out リスニング：人物の動作に着眼して答えるタイプの問題① リーディング：未来形・完了形について学ぶ									
授業計画【第4回】	第4回：Unit 3: Entertainment リスニング：人物の動作に着眼して答えるタイプの問題② リーディング：進行形・助動詞について学ぶ									
授業計画【第5回】	第5回：Unit 4: Travel リスニング：物の様子に着眼して答えるタイプの問題① リーディング：受動態・使役動詞について学ぶ									
授業計画【第6回】	第6回：TOEIC Bridge：第1回受験									
授業計画【第7回】	第7回：Unit 5: Housing リスニング：人物の動作に着眼して答えるタイプの問題③ リーディング：There構文・付加疑問文について学ぶ									
授業計画【第8回】	第8回：Unit 8: Shopping リスニング：人物の様子に着眼して答えるタイプの問題① リーディング：形容詞・副詞について学ぶ									
授業計画【第9回】	第9回：Unit 10: News リスニング：人物の様子・背景に着眼して答えるタイプの問題 リーディング：不定詞・動名詞について学ぶ									
授業計画【第10回】	第10回：Unit 11: Job Hunting リスニング：人物の様子に着眼して答えるタイプの問題② リーディング：前置詞・接続詞について学ぶ									

授業計画【第11回】	第11回：Unit 12：Advertisements リスニング：物の様子に着眼して答えるタイプの問題② リーディング：直接話法・間接話法について学ぶ
授業計画【第12回】	第12回：Unit 13：Office Work リスニング：人物の動作に着眼して答えるタイプの問題④ リーディング：命令文・感嘆文について学ぶ
授業計画【第13回】	第13回：Unit 14：Office Messages リスニング：人物の動作に着眼して答えるタイプの問題⑤ リーディング：関係詞について学ぶ
授業計画【第14回】	第14回：Unit 15：Meetings リスニング：人物の動作に着眼して答えるタイプの問題⑥ リーディング：仮定法について学ぶ
授業計画【第15回】	第15回：TOEIC Bridgeテスト：第2回受験
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC Bridgeの出題内容を理解している ・ TOEIC Bridge IPテストで50点以上のスコアを獲得する
学位授与の方針(DP)との関連	3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	各授業の翌週に実施されるボキャブラリー小テスト対策の学習を各自で行う。(毎週2時間程度の学修を想定) 各ユニットのリーディングの部分授業前に解答しておく。実際の試験のつもりで取り組むこと。
授業時間外学習【復習】	授業で学修した部分を見直し、疑問点などがないか確認する。疑問点や理解していない部分がある場合は翌週の授業で指導者に質問し、解決する (毎週1時間程度の学修を想定)
課題に対するフィードバック	小テストの採点結果返却は翌週の授業時間において行う。
評価方法・基準	期末試験 (40%) 予習点 (20%) 小テスト (30%) TOEIC IPテストの伸び率 (10%)
テキスト	Practical TOEIC Bridge L&R Tests (TOEIC Bridge L&R Tests で英語演習) アリソン・キツマン他著 南雲堂
参考書	なし
備考	